

# 持続可能なアジア低炭素社会の構築に向けて 一課題とSATREPSにおける取り組み一

2011年11月22日

井上孝太郎

(独)科学技術振興機構

上席フェロー

(地球規模課題対応国際科学技術協力担当)

# アジア諸国との連携の意義

参考資料・「エネルギー・科学・技術についてのアジア諸国との連携強化」

(H23年8月、日本学術会議エネルギーと科学技術に関する分科会報告)

・「アジアの発展シナリオと基盤技術」

(H18年2月、科学技術振興機構研究開発戦略センター戦略イニシアティブ)

- エネルギー・環境問題の解決には、アジア諸国との連携が不可欠
  - 世界のエネルギー消費の30%、CO2排出の38%はアジア
- 連携による課題解決が有効
  - 多くの課題がアジア諸国に存在
  - アジア諸国の科学・技術が向上
  - アジア諸国にはリソースが豊富
  - 科学・技術の国際標準化に有効
- 日本の科学技術、産業の海外展開が必須
  - アジア諸国は市場としても大きい
  - 海外で活躍できる人材の育成が必要

# アジア諸国との連携の課題

- **アジア地域、アジア各国の整合性のある発展シナリオの作成  
とそのための国際共同研究拠点（日本国内）の構築**
- **現地に適合する技術の共同研究・開発の強化**  
産・学・官連携による国際協力
- **研究成果の国際社会における正当な評価**  
CDM、REDD+、二国間カーボン・オフセット等のクレジットへの算入、  
国際標準化
- **Win-Win関係を保てる技術移転の仕組みの構築**  
国益、納税者へのリターン
- **国内の研究強化、研究拠点の構築**  
大学における（産・学・官連携による）エネルギー関連研究の再構築

# SATREPSの使命

**地球規模課題解決のための開発途上国との共同研究**

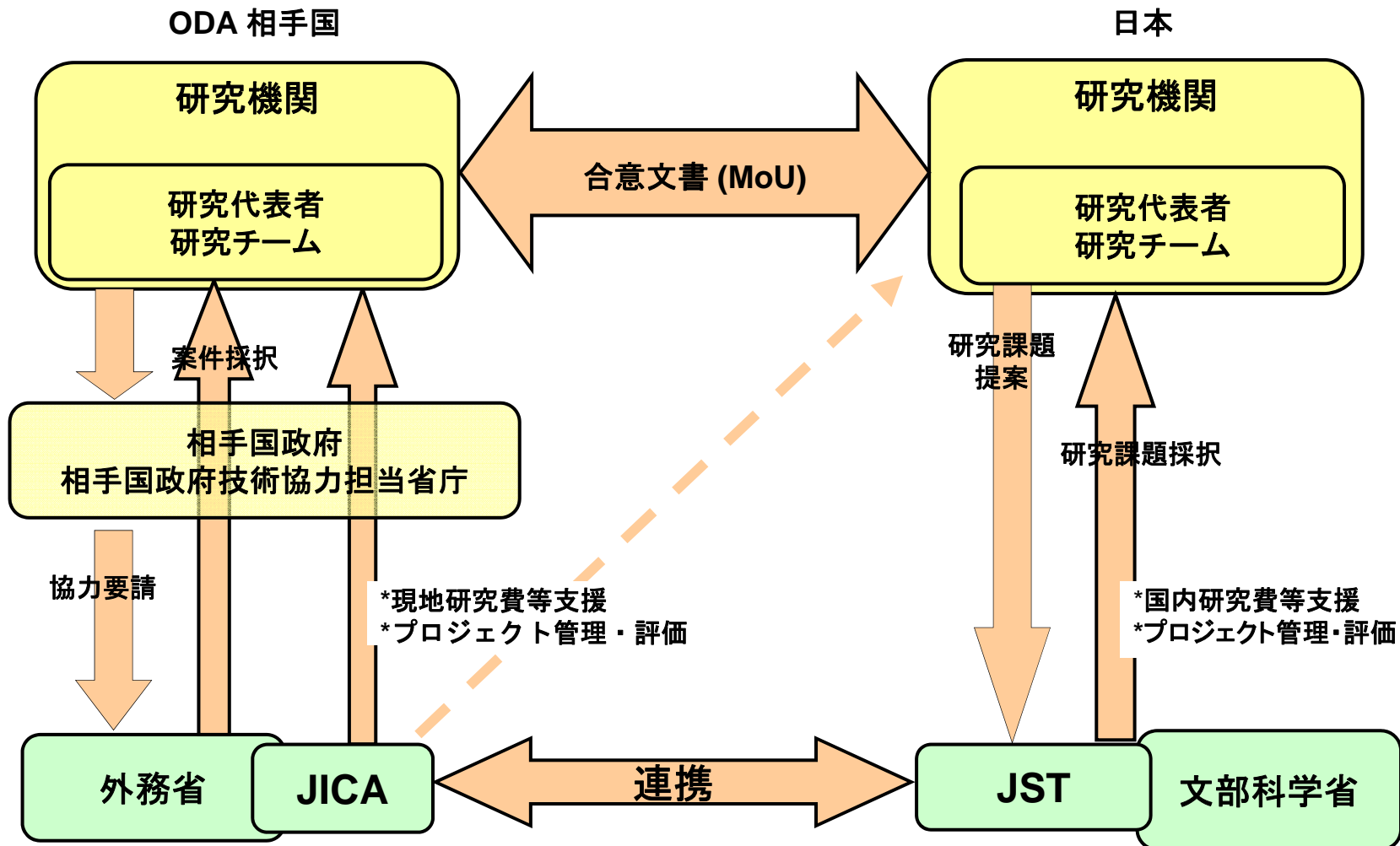
**地球規模課題：環境・エネルギー、食料、自然災害、感染症、  
その他、一国では解決が困難な課題、複数国にまたがる課題**

- **地球規模課題を解決するための科学的知見および技術（社会科学、社会システムを含む）、方策の創出・適用推進**
- **開発途上国および日本の科学技術的、ないし社会的能力の向上**

# SATREPSの実施体制

ODA (JICA 技術協力プロジェクト)

JST 競争的資金



## 採択課題

研究領域	地域			採択年度			
	アジア	アフリカ	その他	2008	2009	2010	2011
気候変動の適応又は緩和	31	18	11	4	4	0	—
低炭素社会の実現に向けたエネルギーシステム				—	—	4	3
その他地球規模の環境課題				3	2	4	2
生物資源の生産・利用				—	6	5	2
防災				3	4	2	2
感染症対策				2	4	2	2
合計				12	20	17	11
				60			

## 実施国の状況



# 低炭素社会の構築に資する アジア諸国との共同研究事例(1)

- 化石資源エネルギー代替
  - － バイオマス・エネルギー生産システム(ベトナム)
  - － 地域農業・バイオマス産業の融合(ベトナム)
  - － 新バイオディーゼルの合成法(タイ)
  - － 非食糧バイオマスによる輸送用燃料生産(タイ)
- 化石資源代替
  - － 天然ゴムを用いる炭素循環システム(ベトナム)
- 省エネ、エネルギー高度利用
  - － 低炭素技術移転・普及(インド)
  - － 省エネ型下水・排水処理・再利用(タイ、インド)



# 低炭素社会の構築に資する アジア諸国との共同研究事例(2)

- 温室効果ガス放出の抑制
  - 熱帯泥炭地の炭素管理(インドネシア)
  - 二酸化炭素回収・貯留(インドネシア)
- エコ・シティの構築  
(下記プロジェクトが該当))
- 低炭素社会発展シナリオの構築
  - 新興国の低炭素社会シナリオ(マレーシア)

# アジア諸国との連携の課題

- **アジア地域、アジア各国の整合性のある発展シナリオの作成  
とそのための国際共同研究拠点（日本国内）の構築**
  - **現地に適合する技術の共同研究・開発の強化**  
産・学・官連携による国際協力
  - **研究成果の国際社会における正当な評価**  
CDM、REDD+、二国間カーボン・オフセット等のクレジットへの算入、  
国際標準化
- Win-Win関係を保てる技術移転の仕組みの構築**  
国益、納税者へのリターン
- **国内の研究強化、研究拠点の構築**  
大学における（産・学・官連携による）エネルギー関連研究の再構築